

SK PREMIUM NAD SILICONE



SK
PREMIUM
NAD SILICONE



超耐候形一液NAD特殊シリコン樹脂塗料

エスケーププレミアム NADシリコン

エスケー化研の弱溶剤形塗料でプレミアムリフォーム



エスケー化研

戸建て塗り替えの決定版!! 抜群の使いやすさと性能。

エスケーププレミアムシリコンに
弱溶剤形シリコン樹脂塗料
がついに登場!!

塗膜の役割は単なる色替えや意匠変更だけではありません。躯体の保護機能も重要な役割の一つです。さらに、塗膜は経年で劣化するため塗り替えが必要です。劣化したまま放置するとサイディング等の基材の劣化にも繋がるため、計画的な塗り替えをお勧めします。

エスケーププレミアムNADシリコンは、弱溶剤タイプで幅広い適性を有しており、外壁だけでなく様々な部位に使用でき、戸建住宅やマンション等の塗り替えに最適です。

エスケーププレミアムシリーズの製品としてラインアップされたエスケーププレミアムNADシリコンは、特殊NAD技術によって一液化された弱溶剤形シリコン樹脂塗料です。より優れた耐候性はもとより、より使いやすい作業性、作業効率を考慮した塗料として進化しました。また、経済性にも非常に優れています。



NADとは…

N: Non
A: Aqueous
D: Dispersion の略です。

この特殊NAD技術により、塗り易い粘性を実現するレオロジー制御技術を大幅に向上させました!



外壁劣化のメカニズム

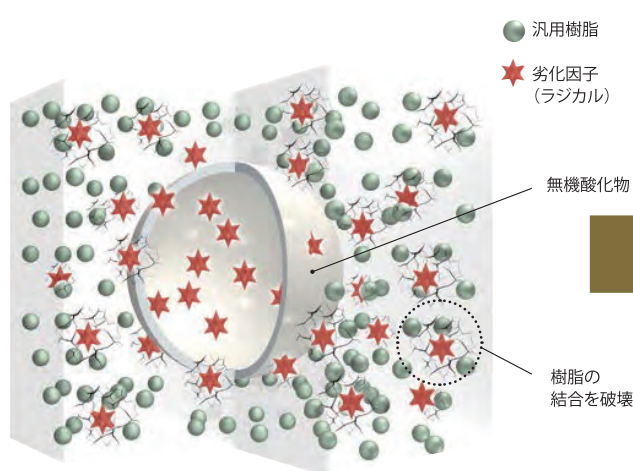
従来の汎用塗料は紫外線、酸素、水などの影響で塗膜の中に劣化因子（ラジカル）が発生し、結合材として使用される樹脂の結合が破壊され、塗膜劣化の原因となっています。その劣化因子を発生、増加させる原因の一つが顔料として一般的に使用される無機酸化物です。

汎用塗料

光エネルギー紫外線

水分（雨・水蒸気など）

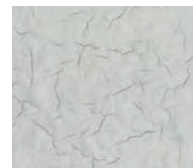
O₂
(酸素)



劣化症状



白亜化(チョーキング)



割れ

エスケープ プレミアムNADシリコンの

👉 ここがプレミアム

超耐候性メカニズム

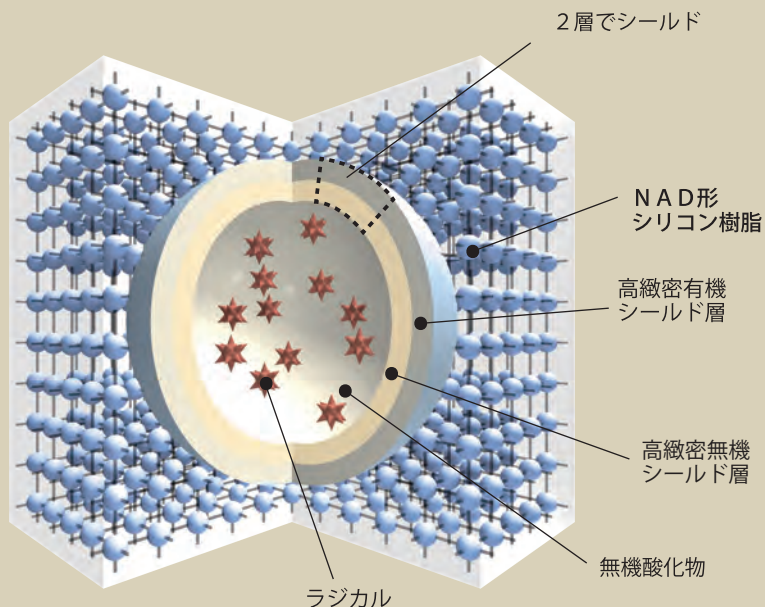
エスケーププレミアムNADシリコンは無機酸化物の表面を高緻密有機シールド層と高緻密無機シールド層でダブルでガードすることにより、ラジカルの発生を抑制するとともに、内部架橋による超耐候性の特殊NADシリコン樹脂の働きで優れた耐候性を発揮します。このトリプルガード効果により住まいを長期に亘り守ります。

トリプルガード効果！！

1+2 高緻密ダブル（無機・有機）
シールド層による
ラジカル発生抑制

3 超耐候性
NADシリコン樹脂塗料

内部架橋による高分子量の架橋構造を有する塗膜は緻密かつ耐候性に優れた強靱な塗膜を形成します。



◆特長

1 耐候性 / 耐久性

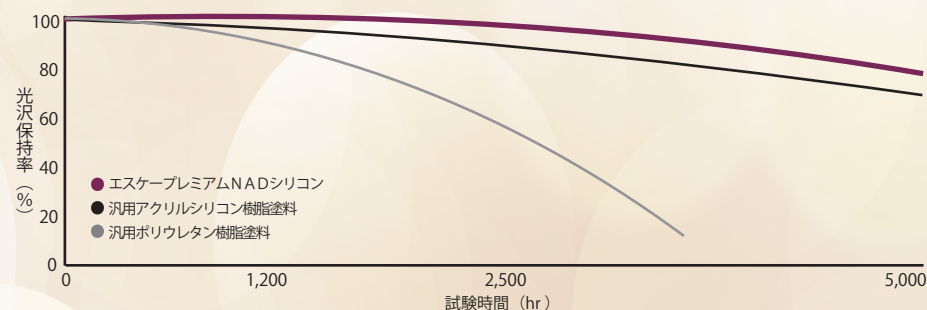
架橋による緻密かつ強靱な塗膜はトリプルガード効果により、超耐久性、超耐候性を示すとともに耐水性、耐アルカリ性、耐薬品性に優れています。さらに、汎用塗料と比較して汚れにくい塗膜構造となっています。

◆塗り替えサイクルの目安【例】



※塗り替え年数は目安です。建物の立地条件、環境等によって異なります。また、塗り替えに関するコスト等は下地の劣化状況によっても異なります。

◆促進耐候性試験（キセノンランプ法）



2 仕上がり

特殊NADシリコン樹脂塗料の滑らか且つ肉持ち感のある塗膜は、光沢のある仕上がり性を示します。艶を抑えた仕上がりをご希望の場合は、エスケーププレミアムNADシリコン7分艶・5分艶・3分艶をご使用ください。

光沢



3 低汚染性

緻密な特殊NADシリコン樹脂の架橋塗膜は汚れを定着しにくくします。

4 防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻等の微生物汚染に対して強い抵抗性を示し、長期に亘り衛生的な環境を維持します。

6 経済性

一液タイプのため、大幅な作業効率の改善につながります。また、耐久性にも優れているためLCC（ライフサイクルコスト）の観点からも経済的です。

5 作業性

隠ぺい性の高い塗膜とレオロジーコントロールによる塗り易い粘性を実現し、作業効率を向上させます。また、強溶剤と比較して臭気が少なく、作業環境の改善に役立ちます。

7 環境対応

重金属（鉛・クロム）や有害なイソシアネートなどを配合していない安全設計です。

それぞれの下地に合わせて各種仕様をお選びください。

光触媒
無機）コーティングの
サイディングに

下地が窯業系サイディングの場合



水性エポキシ樹脂系
サーフェーサー
水性SD
サーフェポ
プレミアム

弱溶剤エポキシ樹脂系
サーフェーサー
マイルドSD
サーフェポ
プレミアム

広範囲適用型弱溶剤
特殊エポキシ樹脂シーラー
エスケープ
ハイブリッド
シーラーEPO

下地選び

下塗り

上塗り

下地がコンクリートモルタルの場合



水性特殊合成樹脂エマルション系
弾性サーフェーサー
エスケープ弾性プレミアムフィラー

下地選び

下塗り



超耐候形一液NAD特殊シリコン樹脂塗料
エスケープ
プレミアムNADシリコン

下地が鉄部の場合



ターペン可溶一液特殊変性
エポキシ樹脂さび止め塗料
マイルドサビガード

製品荷姿

- ★エスケーププレミアムNADシリコン(3分艶・5分艶・7分艶・艶有り)・・・ 15kg 石油缶 (標準塗坪：42～68㎡/缶)
4kg 缶 (標準塗坪：11～18㎡/缶)
- ★エスケープハイブリッドシーラーEPO (主材 12.5kg/硬化材 2.5kg)・・・ 15kg セット (標準塗坪：75～187㎡/セット)
- ★マイルドSDサーフェポプレミアム・・・・・・・・・・・・・・ 15kg 石油缶 (標準塗坪：38～83㎡/缶)
- 水性SDサーフェポプレミアム・・・・・・・・・・・・・・ 15kg 石油缶 (標準塗坪：38～83㎡/缶)
- エスケープ弾性プレミアムフィラー・・・・・・・・・・・・・・ 15kg 石油缶 (標準塗坪：15～75㎡/缶)
- ★一液マイルドシーラーES(クリヤー・ホワイト)・・・・・・・・ 14kg 石油缶 (標準塗坪：93～140㎡/缶)
- ★マイルドサビガード・・・・・・・・・・・・・・ 16kg 石油缶 (標準塗坪：100～123㎡/缶)
4kg 缶 (標準塗坪：25～30㎡/缶)

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

用途

戸建て住宅・マンション等の建築物の内外壁・各種金属部位等

適用下地

- ・コンクリート、セメントモルタル、ALCパネル、スレート板、サイディングボード
木部、各種旧塗膜(活膜)など
- ・鉄部、亜鉛めっき鋼、アルミニウム、ステンレスなどの金属

【危険情報と安全対策】

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

1. 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

◆標準施工仕様

【外壁（改装）／上塗りの塗り替えの場合】

(23℃)

工程		材料	割合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
						工程内	工程間	最終養生	
※1 下地調整		●旧塗膜に脆弱性のある場合は、サンダー及び吹き、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンド KC-1000 で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 ●高圧洗浄（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							—
1	※6.7.8 上塗り	エスケーププレミアムNADシリコン	100	0.25～0.35	2	3 以上 48 以内	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000㎖/分 パターン幅:25～30cm
		塗 料 用 シ ン ナ ー A	0～10	※5 —					

【外壁（改装）／窯業系サイディングボードの場合】

(23℃)

素地調整	●劣化した塗膜は除去してください。 ●高圧洗浄（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 ●劣化した目地は除去した後、シーリング材による打ち替えを行ってください。							—
1 下塗り	マイルドSDサーフエポプレミアム	100	0.18～0.40	1	—	3以上 7日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン
	塗料用シンナー A	0～20 ^{※4}	—					
2 上塗り	エスケーププレミアムNADシリコン	100	0.22～0.35	2	3以上 48以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
	塗料用シンナー A	0～10 ^{※5}	—					

注）マイルドSDサーフエポプレミアムの他、水性SDサーフエポプレミアム（15kg石油缶）もご使用いただけます。

- ・光触媒や親水性タイプの表面コーティング、無機系コーティング材が塗装されているサイディングの場合は、下塗りにエスケープハイブリッドシーラー EPO（15kgセット）をご使用ください。
- ・下地・旧塗膜の劣化が著しい場合には、下塗りにエスケープハイブリッドシーラー EPO（15kgセット）をご使用ください。

【外装（改装）】注：旧塗膜は活膜であることを想定しています。

(23℃)

※1 下地調整	●旧塗膜に脆弱性のある場合は、サンダー及び吹き、ケレン棒などを用いて除去し、ミラクファンド KC-1000 で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 なお、セメント系下地調整材（ミラクファンド KC-1000、ミラクファンド KC-2000、ミラクファンド KC-3000 など）を用いる場合は、下地調整後、水性ミラクシーラーエコなどの下塗り塗料を塗付してください。 ●高圧洗浄（5～15MPa）にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							—
1 下塗り (薄付け 仕上げ)	エスケープ弾性プレミアムフィラー	100	0.20～0.5	1	—	3以上	—	ウールローラー 刷毛
	清水	5～8	—					
2 下塗り (厚付け 仕上げ)	エスケープ弾性プレミアムフィラー	100	0.5～1.0	1	—	4以上	—	M-9ローラー (マッシュクローラー) リシンガン 口径:4～5mm 圧力:392～588kPa
	清水	2～8	—					
3 上塗り	エスケーププレミアムNADシリコン	100	0.25～0.35	2	3以上 48以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
	塗料用シンナー A	0～10 ^{※5}	—					

注）使用する器具により塗り回数や所要量が異なる場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

【鉄部】（改装）

(23℃)

素地調整	●被塗装面のミルスケール、ほこり、油脂分、水分などを除去し、洗浄してください。 ●さびや浮き塗膜、粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどで十分に除去してください。							—
1 下塗り	マイルドサビガード	100	0.13～0.16	1	—	3以上 1ヶ月以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
	塗料用シンナー A	5～15 ^{※2}	—					
2 上塗り	エスケーププレミアムNADシリコン	100	0.22～0.26	2	3以上 48以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
	塗料用シンナー A	0～10 ^{※5}	—					

【木部】（改装）

(23℃)

※1 下地調整	●ケレンや水洗いにより、汚れなどは除去してください。 ●水分・油脂分などの残存は付着力低下の原因になりますので、溶剤で除去し、十分に乾燥させてください。							—
1 上塗り	エスケーププレミアムNADシリコン	100	0.22～0.26	2	3以上 48以内	—	24以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600～1000ml/分 パターン幅:25～30cm
	塗料用シンナー A	0～10 ^{※5}	—					

※1. 下地の状況によりシーラーや表面の目粗しが必要な場合があります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

※2. ★マイルドサビガードの★塗料用シンナー A での希釈率は、スプレー塗り時で「10～15」、刷毛・ローラー塗り時で「5～10」となります。

※3. 下塗りにはこの他、★エポサビマイルド（16kg石油缶、4kg缶）もご使用いただけます。

※4. ★マイルドSDサーフエポの★塗料用シンナー A での希釈率は、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。

低温下では塗料粘度が高くなります。希釈範囲内で希釈率を上げてください。

※5. ★エスケーププレミアムNADシリコンの★塗料用シンナー A での希釈率は、スプレー塗り時で「5～10」、刷毛・ローラー塗り時で「0～5」となります。

低温下では塗料粘度が高くなります。希釈範囲内で希釈率を上げてください。

※6. 凹凸の大きな基材など下地の種類によっては所要量が多くなりますのでご注意ください。

※7. 材料の希釈には必ず★塗料用シンナー A を使用し、他の材料の使用は避けてください。

※8. 希釈しすぎると光沢に影響を与えますので、シンナー希釈率及び所要量を厳守してください。

※9. ★マイルドサビガードや★エスケーププレミアムNADシリコンを使用した塗装器具は★ラッカーシンナーなどで洗浄してください。

※10. ★マイルドサビガードや★エポサビマイルド、★エスケーププレミアムNADシリコンをご使用の際は、スプレーダストや製品の付着した布、紙、ローラー等

が積み重なると、自然発火する恐れがあるため、廃棄するまで水に漬けるなどして安全に保管してください。

◆新築仕様

【外壁、平滑仕上げ】

(23℃)

工程	材料	割合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整 ^{※1}	●下地はよく乾燥させ、含水率 10%以下、pH10 以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修してください。							—
1 下塗り ^{※2}	一液マイルドシーラー E S (クリヤー・ホワイト)	既調合	0.10 ~ 0.15	1 ~ 2	3 以上	3 以上 7 日以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
2 上塗り ^{※6.7}	エスケーププレミアム N A D シリコン	100	0.25 ~ 0.30	2	3 以上 48 以内	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0 ~ 10 ^{※5}						

【鉄部】

(23℃)

素地調整	●被塗装面のミルスケール、ほこり、油脂分、水分などを除去し、洗浄してください。 ●さびや浮き塗膜、粉化物はサンドペーパーやディスクサンダーなどで十分に除去してください。							—
1 下塗り ^{※4.6}	マイルドサビガード	100	0.13 ~ 0.16	1	—	3 以上 1 ヶ月以内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	5 ~ 15 ^{※3}	—					
2 上塗り ^{※6.7}	エスケーププレミアム N A D シリコン	100	0.22 ~ 0.26	2	3 以上 48 以内	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量:600~1000ml/分 パターン幅:25~30cm
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0 ~ 10 ^{※5}	—					

- ※ 1. ALC 面、多孔質地下、粗面、その他下地に問題がある場合には、カケンフィラー（粉体 20kg 袋、混和液 10kg 石油缶）、ミラクフアンド K C -1000（粉体 20kg 袋、混和液 5kg ポリ容器）などにて、下地調整を行ってください。なお、改修工事にはミラクフアンド各種をご用意ください。
- ※ 2. 押出成形セメント板、GRC 板、P C 部材などには下塗材として★エスケープハイブリッドシーラー E P O (15kg セット)、★マイルドシーラー E P O (クリヤー・ホワイト、14kg セット)、または★ミラクシーラー E P O (15kg セット) をご使用ください。なお、軽量 P C 部材への施工は避けてください。
- ※ 3. ★マイルドサビガードの★塗装用シンナー A での希釈率は、スプレー塗り時で「10~15」、刷毛・ローラー塗り時で「5~10」となります。
- ※ 4. 下塗りにはこの他、★エポサビマイルド（16kg 石油缶、4kg 缶）もご使用いただけます。
- ※ 5. ★エスケーププレミアム N A D シリコンの★塗料用シンナー A での希釈率は、スプレー塗り時で「5~10」、刷毛・ローラー塗り時で「0~5」となります。
- ※ 6. 材料の希釈には必ず★塗料用シンナー A を使用し、他の材料の仕様は避けてください。
- ※ 7. 希釈しすぎますと光沢に影響を与えますので、シンナー希釈率及び所要量を厳守してください。
- ※ 8. ★マイルドサビガードや★エスケーププレミアム N A D シリコンを使用した塗装器具は★ラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- ※ 9. ★マイルドサビガードや★エポサビマイルド、★エスケーププレミアム N A D シリコンをご使用の際は、スプレーダストや製品の付着した布、紙、ローラー等が積み重なると、自然発火する恐れがあるため、廃棄するまで水に漬けるなどして安全に保管してください。

◆施工上の注意事項

- 上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
- 異なる色目で塗り重ねる場合、2 回目の上塗りが 1 回目の上塗りを溶かし、ラインや帯がにじむ場合がありますのでご注意ください。
- 艶調整品（艶有り以外の 7 分艶、5 分艶、3 分艶など）は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- 上塗材は所定の乾燥時間（最終養生時間）を厳守してください。施工後、塗膜が乾燥するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は乾燥後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がつかないようにしてください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木などの水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がつかない部位などは、注意が必要です。
- 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しできないよう、注意してください。
- 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
- 軽量モルタル、ALC パネル、高断熱型窓系サイディング及び発泡ウレタンなどを用いた高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで、パネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用に当たっては、最寄りの営業所にご相談ください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、SK K カビ除去剤 # 5（塩素系）にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用使用塗料の控えを必ずとおき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がりの違いにより、若干の色目の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がりを確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りや仕上がりの違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境（温度、湿度、換気、風通しやすさ）や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 改修工事に溶剤系の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 間隔が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ゴムやプラスチック等、可塑剤を含む部位に直接触れると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ベンチやジャングリズムなどの遊具、テーブル、カウンター、棚、床など、物が常に置かれる箇所への塗装を避けてください。また、アルコールや油脂分（人の手など）が付着すると塗膜が軟化し、色移りすることがありますので、ご注意ください。
- 塗膜の膨れ、剥離、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露がある場合や、低温、高湿度、通風の悪い場合には、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生、艶引けにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。なお、しみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温 5℃以下、湿度 85%以上での施工は原則的に避けてください。気温 5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により周囲気温、被塗面温度を 5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は使用前に内容物が均一になるように十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早くに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733
東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601

札幌支店 ☎011-784-4000 千歳支店 ☎043-304-0411
仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391
東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400

旭川営業所 ☎0166-51-8094 宇都宮営業所 ☎028-657-5555
仙台住宅開発営業所 ☎022-388-6518 群馬一宮営業所 ☎03-3204-6601
青森営業所 ☎017-762-3855 東京住宅開発営業所 ☎03-3204-6602
盛岡営業所 ☎019-654-8380 千葉営業所 ☎043-304-0411
郡山営業所 ☎024-962-7673 千葉住宅開発営業所 ☎043-304-0413
新潟営業所 ☎025-285-6551 埼玉営業所 ☎048-686-2391
群馬営業所 ☎027-280-5350 埼玉住宅開発営業所 ☎048-686-1586
長野営業所 ☎026-239-6210 城東営業所 ☎03-3877-7770
松本営業所 ☎0263-24-2677 三多摩営業所 ☎042-564-5806
水戸営業所 ☎029-251-6515 横浜営業所 ☎045-820-2400

大判板工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。
特記仕様が有る場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

国際事業本部 ☎072-621-7727

名古屋支店 ☎052-561-7712
京都支店 ☎075-646-3967
大阪支店 ☎072-621-7721

横浜住宅開発営業所 ☎045-820-5525 大阪営業所 ☎072-621-7722
厚木営業所 ☎046-294-3666 大阪住宅開発営業所 ☎072-621-7747
静岡営業所 ☎054-284-1877 南大阪営業所 ☎072-253-1910
浜松営業所 ☎053-462-7021 神戸住宅開発営業所 ☎078-671-0451
三河営業所 ☎0564-28-1614 姫路出張所 ☎079-281-5311
北陸営業所 ☎076-266-1041 岡山営業所 ☎086-242-5520
名古屋営業所 ☎052-561-7712 広島住宅開発営業所 ☎082-943-5053
名古屋住宅開発営業所 ☎052-561-7712 山口営業所 ☎083-924-7575
岐阜営業所 ☎058-273-1981 高松営業所 ☎087-865-5411
三重営業所 ☎059-254-3777 松山出張所 ☎089-968-7240

神戸支店 ☎078-671-0451
広島支店 ☎082-943-5043
福岡支店 ☎092-629-3427

北九州営業所 ☎093-621-8505
福岡営業所 ☎092-622-5561
福岡住宅開発営業所 ☎092-622-5562
大分営業所 ☎097-555-9081
長崎営業所 ☎095-887-0871
熊本営業所 ☎096-344-5650
鹿児島営業所 ☎099-284-5321
宮崎出張所 ☎0985-61-7779
沖縄営業所 ☎098-862-5041

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>

特約販売店

〔製作年月：2017年09月〕（170930.YO-2）